

総合型地域スポーツクラ 公式メールマガジ

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。 スポーツくじについてはこちらから

[スポーツくじ理念広報サイト[GROWING]]

https://www.toto-growing.com/

スポーツくL" winner coco Big







特集★障がい者スポーツに取り組むクラブ

湖南市ちょいスポクラブ(滋賀県)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R6/MM174_konan.PDF

特別企画★スポーツを通じた介護予防·健康増進に取り組むクラブ

NPO法人活き生きかにえスポーツクラブ(愛知県)

連載★学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に取り組むクラブ

公益財団法人渋川市まちづくり財団 しぶかわスポーツクラブ(群馬県)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R6/MM174 shibukawa.PDF

助成金情報 ▷▷▷ 謹細

お知らせ ▷▷▷詳細

バックナンバー ▷▷▷<u>詳細</u>

全体版 ▷▷▷≌







★障がい者スポーツに取り組むクラブ★

湖南市ちょいスポクラブ

滋賀県湖南市

総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブ)は、障がい者スポーツの推進などのさまざまな地域課 題の解決に向け、地域スポーツ団体等と連携を図ることが重要となってきます。また、地域コミュニティ の核として期待されている総合型クラブは、地域の障がい者がスポーツに親しむことができる環境を今後 さらに提供することも望まれています。

そこで今回は、障がいのある方の社会参加の推進を目的に、障がい者スポーツに取り組んでいるクラブ について紹介します。

クラブ概要

スポーツを通して夢が語り合える交流を

湖南市ちょいスポクラブは誰もが気軽に楽しく参加でき、スポーツを通して夢が語り合える、 多世代の交流を基本理念として活動しています。クラブの活動は、自分に合ったスポーツを、自 分のペースで楽しめるので、継続的に無理なくスポーツに親しむことができます。また、定期的 に健康体力測定を実施することで、クラブ会員個々の健康意識の向上にも努めています。

●クラブ情報

会費: 入会金1,000円(保険料別途)、個人会費3,000円、ファミリー会費5,000円、高校生1,000円、 小中学生500円

活動場所:湖南市総合体育館、野洲川親水公園、石部文化総合センター、三雲小学校、三雲東小学校、 菩提寺小学校

関係機関:三幸・スポーツマックス共同事業体(指定管理団体)

活動日:火曜/9:30~11:30、13:30~15:00

水曜/10:00~12:00

木曜/9:30~11:30

金曜/10:00~11:00(石部会場)、13:30~15:00

スポーツ教室: ウオーキング、ランニング、ゴルフ、グラウンドゴルフ、ボウリング、健康バンド、 ニュースポーツ、スケート



●各教室でのサークル活動

スポーツイベント: ちょいスポ大会

(バドミントン、パドルテニス、ビーチバレー、卓球、ニュースポーツ)

ゴルフ大会:月1回(2月、8月は休み)

グラウンドゴルフ大会:月2回 水曜日午前・午後

ボウリング大会:月1回 水曜日午前

●その他の取り組み

・新春ウオーキング:毎年の恒例事業/1月3日午後1時スタート

・体力測定:スポーツ庁の新体力テスト実施要項を基に年1回クラブ会員の健康体力測定を実施

・AEDの講習(年1回):最低1回は受講の義務化を目標に

・クラブ間の交流大会参加:総合型クラブ間の交流大会参加



新春ウオーキング



スケート教室



スラックライン体操



AED講習会



健康バンド



障がい者スポーツへの積極的な取り組み

パラスポーツチャレンジプロジェクトへの参画

湖南市ちょいスポクラブで近年、特に注力しているのは、滋賀県が令和2(2020)年度から推進す る「パラスポーツチャレンジプロジェクト」への参画です。この事業では、障がい者のスポーツへ の興味関心を広げ、身近にスポーツに親しむことができる環境を整備することを目的とし、特別 支援学校等を活用した軽スポーツ教室の実施などに取り組んでいます。当クラブも、本事業の実 行委員会に所属し、各種事業の実施に協力しています。

初めは、県立三雲養護学校の体育館を使用して、養護学校の生徒を中心に、パラスポーツの楽 しさを伝える軽スポーツ教室から始めました。募集チラシを制作して、養護学校内や障がい者雇 用の事業所へ配布するなど告知活動に力を入れ、小学生から社会人までが集まりました。やがて 参加者が増えてくると、会場を湖南市総合体育館に移しました。現在の参加人数は25人前後にな ります。

国スポ・障スポ2025をめざす知的障がい者バレーボールチーム

障がい者スポーツの取り組みとしてもう一つ重要なのが、知的障がい者バレーボールチームの 活動です。県からの要請もあり、令和7(2025)年に滋賀県で開催される「国スポ・障スポ2025」に向 けて、障がい者スポーツのバレーボールチームを立ち上げました。

湖南市総合体育館を会場に、当初は月3回、土曜日または日曜日の午前9時30分から2時間の練 習時間でスタート。そして今年度からは、国スポ・障スポで実際に会場となる湖南市総合体育館大 アリーナで、月4回、土曜日または日曜日の9時~12時(月1回は9時~16時)と回数を増やして実施 しています。また、昨年度までは男女別々に練習していましたが、今年度からは活動日も同じ日 にして交流を図りやすくしています。

指導スタッフにはバレーボール経験者が加わり、会場は指定管理者の協力のおかげで3カ月先ま で確保できています。遠征費用や会場費、ユニフォーム代、道具代、消耗品などの経費は、滋賀 県競技力向上対策本部などからの補助を受けています。

他県開催大会への参加や健常者チームとの交流機会などで経験を積む

バレーボールチームの選手は経験者もいますが、未経験者が大半です。最初のころは養護学校 の生徒がほとんどでしたが、コロナ禍が過ぎ、今では社会人になった選手が多数となりました。 そのため、それぞれの休日や職場の都合に合わせた練習日の調節が大変になっています。遠くか らの参加者もいるため、クラブは最寄りのJR駅まで送迎をだすなどのサポートを行っています。

最近ではクラブが引率し、他県との交流大会や他県開催の障がい者バレーボール大会、近畿大 会に参加するなど、徐々に試合経験を積んでいます。監督主導で健常者のバレーボールチームと の交流機会をつくったり、今後はVリーグや一般大会の試合見学なども計画しています。

選手間の話し合いでキャプテンを選び、練習後には必ず反省会を開いてから解散しています。 監督からの話はノートにメモをとり、自分の感想や課題などを記入して提出するなど、選手たち は積極的にバレーボールに取り組んでいます。





湖南市総合体育館

会場風呂

その他の会員サポート

クラブ活動を充実させる立命館大学スポーツ健康科学部との交流

障がい者スポーツを含め、クラブは立命館大学スポーツ健康科学部と協力し、先生方や学生との交流を積極的に実施しています。大学とクラブのサポート関係を継続、発展させていくなかから、今後もよりよいクラブ活動が生まれてくることを期待しています。

<主な交流プログラム>

- ①キッズの運動指導の依頼
- ②高齢者の運動指導、体力測定協力
- ③健康バンド指導者講習会

会員を助ける名札とスタンプカードの活用

クラブのルールとして徹底しているのが、会員の名札(ネームプレート)の携行です。会員には クラブでの活動時に、自分の名札を運動着やバッグ、用具に必ず付けることをお願いしています。 名札の裏面には①緊急連絡先を2カ所以上記入、②血液型の記入、また、かかりつけ病院があれば、 病院名も記入します。特に高齢者の方は、非常事態に備えるうえで、とても大切なことです。

また、クラブ会員にはスタンプカードを配布し、参加する日の体温を記入することも義務づけています。スタンプが30回たまると、ナイロンのゴミ袋がプレゼントされ、特に女性会員から好評です。

障がいのある人たちの社会参加が推進されることを目的に

障がい者スポーツへの取り組みは、スポーツの楽しさを伝えるだけでなく、障がいのある人たちの社会参加が推進されることを目的に実施するもので、本クラブの基本理念に合致した活動だと考えています。

今後もクラブの基本理念である、誰もが気軽に楽しく参加でき、スポーツを通して夢が語り合 える、多世代の交流を大切に活動していきたいと思います。

湖南市ちょいスポクラブ 会長 九條親道



クラブプロフィール

設立年月日 平成20(2008)年2月14日

滋賀県湖南市夏見589番地 所在地

運営 会員数:231人(令和6年3月現在)、予算規模185万円(2023年度)

特徴 ①道具購入時には他の団体と連携して同じ器具を購入する(ボッチャ等)

②毎回いろんな種目で活動が可能

③ちょいスポ大会をちょいスポルールで開催

④ボランティア作業には積極的に参加(草引き・大掃除)

⑤ゴルフのハンディキャップは1回参加で1プラス、誰もが優勝のチャンスあり

女子のドラコンやニアピンホールあり

⑥ボウリングはアメリカンやヨーロピアンでの投球(参加人数で決める)

連絡先 〒520-3223 住所:滋賀県湖南市夏見589番地

> 湖南市総合体育館 TEL:0748-72-4990



★スポーツを通じた介護予防・健康増進に取り組むクラブ★

NPO法人活き生きかにえスポーツクラブ

愛知県海部郡蟹江町

総合型クラブの活動は、地域住民へスポーツ活動を促す契機となり、地域住民の健康増進および体力づ くりに大きく寄与することができます。また、総合型クラブが地域に根ざし、必要不可欠な団体となるた めにも、健康・医療など地域の諸課題を解決する公益的な事業を積極的に行うことが必要となってきます。 そこで今回は、高齢者向けのプログラム等の実施を通して健康づくりに取り組むクラブを紹介します。

クラブ概要

誰もが気軽に自由に参加できて楽しめるクラブとして設立

蟹江町唯一の総合型地域スポーツクラブとして、平成22(2010)年3月に設立され、「誰もが気軽 に自由に参加でき楽しめるクラブ、健康づくり、仲間づくりの場となるクラブ」を理念として活動 を開始しました。

設立当初は予想をはるかに上回る550名の方々が入会され、一般講座として9講座、ジュニア講 座として4講座で活動を開始。子どもから高齢者まで、それぞれ興味のある講座を上限なく選べる ようにするなど、体を動かす機会を提供しています。女性スタッフのみで運営しているところも 当クラブの特徴です。

また、コミュニケーションを図る機会として、季節を楽しむ「ウオーキングツアー」の開催や、2 月には「伊勢神宮参拝ツアー」も企画し、会員の方々に喜んでいただきました。この2つのツアーは、 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策協力要請が出るまでは毎年続けて行いました。

行政とも関係を構築し9事業を受託

平成26(2014)年にNPO法人を取得し、団体として蟹江町とのつながりも強くなりました。

設立から14年がたち、クラブの状況も変わりつつあります。新型コロナウイルス感染症拡大時 期に会員の入会は減少しましたが、その時期を越え、令和5(2023)年度からは少しずつではありま すが、運動の機会を求める方がクラブに戻ってきてくれています。令和6(2024)年3月末現在の入 会数は265名。―般講座6講座、ジュニア講座7講座、月謝制やチケット制など形式を変えた講座4 講座を行っています。会員の方の間では「イキイキ(活き生きかにえスポーツクラブ)入ってる?」 と会話をしていただいているようで、少しずつではありますが、地域に浸透してきていると感じ ています。



また、これまでも会費の値上げ、赤字講座の中止、ジュニア講座の増設など変更を加えながら 運営してきましたが、令和6(2024)年度も、会費を2,000円値上げさせていただき、持続可能な運 営を心掛けています。

現在、蟹江町の3つの課から9事業を受託して展開しており、蟹江町唯一の総合型クラブとして、 行政とのよい関係も構築できています。今後も町民の健康維持・増進および子どもたちの体力向上 のための役割を担っていけるクラブとして存続できるように取り組んでいきたいと思っています。

アイデアをカタチにすることで参加者を増やす

「貯筋運動教室 は7年続く事業に成長

当クラブの会員は60~70代が多いため、高齢者の体力維持・向上の機会が必要であると考え、平 成28(2016)年に公益財団法人健康・体力づくり事業財団が行っていた「貯筋運動プログラム」を取 り入れることにしました。そのために、スタッフ2名が中高年運動指導士資格を取得、貯筋運動指 導者講習会を受講し、初年度は財団の助成金を受け「貯筋運動ステーション」を開講。30名の方々 に参加いただけたことで、皆さんに役立つ事業として成り立つと確信したため、次年度より、短 期講座[貯筋運動教室]としてスタートしました。

参加される方の年代に合わせて参加していただきやすいように、短期講座からチケット制に変 更するなどとかたちを変えて様子をみながら開講を続け、7年たつ現在は月謝制をとり、毎週1回 開講の「貯筋運動教室」として70歳以上の25名の方々に参加していただいております。



「貯筋運動教室」 70代の方が多く参加されています



毎週身体を動かすことができるので人気です



月に1回、男性向けの運動と料理教室を開催

また、介護支援課の若手職員に、クラブで行っている貯筋運動教室をもっと多くの人に体験し ていただくよい方法はないでしょうかとご相談したところ、ちょうど新しい事業を提案するタイ ミングだったということで、介護支援課受託事業として『男ばかりの男組』と題した「男性のための 介護予防教室 | として、月1回ずつの運動と料理の教室を開催することになりました。

なぜ、男性向けにしたかというと、会員のほとんどが女性であり、「夫にも勧めたいが、女性ば かりのところには入りたがらない」という話も聞いたことがあり、それならばいっそ男性だけの講 座を立ち上げたら参加してもらえるのだろうか? という発想から案を練り上げました。

運動はストレッチ、脳トレ、筋トレ、コグニサイズ、貯筋運動プログラムを組み合わせて実施 しています。料理はその日のメニューの作り方の説明、3~4名で手分けしての料理づくり、コロ ナ禍以降はパックに詰めて持ち帰りにしていますが、それ以前は作った料理をみんなで食べ、あ と片づけ後に栄養の話を聞き、解散という流れで行っていました。



「男性のための介護予防教室」 ゲーム感覚の運動も取り入れています

アイデアひとつで、小さなきっかけから大きな事業に

「男性のための介護予防教室 | を開始した次年度からは、町内の公民館へスタッフが出張し健康 体操指導を行うアイデアをクラブから行政に提案し、こちらも町行政からの受託事業「町内巡回型 介護予防教室 として開始し、その後、2カ所の施設での「認知症予防ヨガ教室」も始めました。

きっかけや始まりは小さなものでしたが、行政の担当者と意気投合し、タイミングよく予算申 請も通り、事業展開ができたと感じています。同時に事務局スタッフの協力があったからこそ実 現できたものだと思います。

参加される方々がどの場所なら参加しやすいのか、どのようなかたちなら参加しやすいのかを 探りながら取り組みを進めてきました。「男性のための介護予防教室」は、果たして参加者が集まる のだろうかと心配しましたが、蟹江町内にチラシを全戸配布させていただいたり、中日新聞「尾張 版]に取材依頼をし、実際に掲載していただくなどの広報活動の結果、毎年15名ほどの男性が参加 される事業になっています。



「男性のための介護予防教室」は行政の受託事業であるため講師条件が厳しく、しかも安価でお 願いできる地域貢献への意識の高い方を探すことに苦労しました。結果的に、料理講師は町内で 食堂を経営されている管理栄養士の方にお願いすることができました。「町内巡回型介護予防教室」 については、取り入れる気持ちのある地域の公民館をどのように探すかに苦労しましたが、あり がたいことに、男性の介護予防教室に参加されている方のなかに、町内で長寿会の役員をされて いたり、町内会長に話してくださったりする方がいたため、その方々の地域の公民館から巡回し 始めることができました。

皆さんの協力をいただけたからこそ続く事業になっています。



「町内巡回型介護予防教室」 代表者研修会の様子

多くの方々の声から取り組みの効果を実感

性別や年齢、地域のニーズに合った講座で運動機会を創出

「貯筋運動教室」、「男性のための介護予防教室」、「町内巡回型介護予防教室」、「認知症予防ヨガ教 室」などの取り組みは、対象となる性別や年齢、地域が違うため、町民の多くの方々に体を動かす 機会が届き始めているのではないかと感じています。先日、「貯筋運動教室」に参加されている方か ら、「イキイキさんはこんなにいい活動をされているのだから、効果のデータを蟹江町に出したら いいのに|と感想コメントをいただき、とてもうれしく思いました。しかし、データをとることは、 始めた当初より必要性を感じながらもできていないため、今後の課題にもなっています。

男性のための介護予防教室は、毎年新規募集を行っていますが、新規の方の参加は毎年5~7名 ほどのため、定員20名のうち継続の方の割合が多くなります。毎年「来年は卒業しないとだめかな? 続けられるなら続けたいなぁ」という声をいただきます。うれしいことでもありますが、新しい多 くの方に体験していただくことへの工夫も必要だと思いますので、告知、アピール方法は課題に なっていくと思います。

「町内巡回型介護予防教室」については、予算内での巡回回数が限られているため、令和4(2022) 年度までは一つの地域で複数回教室を実施できていましたが、昨年度からは希望する地域が増え たことにより、一つの地域あたりの教室実施回数が少なくなり、効果を実感しづらくなっています。 その不足分を当クラブの事業として補塡できるよう講師の確保が課題です。



特徴

自主運営に移行し みんなで協力し成長するクラブに

活動効果を可視化し、会員や町民の方々とともに歩む

コロナ禍で外出の機会が減り、体力の低下を感じているという声を聞き、体力の維持・向上に役 立てる活動を増やしていくべきであると考えました。そしてそのためには、活動効果をどのよう にデータ化して提示していくか、そのための講師およびスタッフをどう確保するかが重要となり ます。令和6(2024)年度は、会員のなかから、愛知県の取り組みである「健康リーダー講習会」に参 加していただける方を募り、自主運営に移行できるように検討していく予定です。

「町内巡回型介護予防教室」を含む高齢者の体力維持・向上については、クラブとしても別事業と して自主運営できる内容も検討中ではありますが、健康づくりについての意識が高い町民の方々 をチーム化し、有償ボランティアとして会員が自主的に活動できるようにしていくことが目標で す。健康リーダーの育成はその第一歩であり、令和6(2024)年度秋より進めていきたいと考えてい ます。

今後、クラブスタッフ、クラブ講座の講師だけで取り組み内容を増やしていくことは難しいと 考えられるので、いかに多くの会員さんや町民の方々に協力いただけるクラブになるかが大きな 課題です。

活き生きかにえスポーツクラブ クラブマネジャー 照内由美

クラブプロフィール

設立年月日 平成22(2010)年3月14日(平成26年10月26日法人登記)

愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字佐屋川東46番地(蟹江町体育館分館内) 所在地

会員数:265名(令和6年3月現在)、予算規模810万円(令和5年度) 運営

●蟹江町唯一の総合型クラブとして設立されたため、行政との連携がよく、町内の 成人、子どもの健康づくりとしてのスポーツの機会提供をできている。

●運営に関わる5名のスタッフが全員女性である。

連絡先 〒497-0044 住所:海部郡蟹江町大字蟹江新田字佐屋川東46番地

TEL:0567-55-9780 FAX:0567-55-9781

HP:https://www.ikiksc.com E-mail:ikiksc@tenor.ocn.ne.jp



★本記事の読み上げ動画を作成しました!

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、 本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください! 動画はこちら➡https://youtu.be/sBmv9LdKz-c







連載

★学校部活動の地域連携·地域クラブ活動への 移行に取り組むクラブ★

公益財団法人渋川市まちづくり財団しぶかわスポーツクラブ

群馬県渋川市

学校運動部活動を巡っては、少子化による生徒数の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5 (2023) 年から令和7 (2025) 年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう各自治体に求めており、総合型クラブにおいても学校運動部活動との連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

1

クラブ概要

しぶかわスポーツクラブは、子どもから高齢者までのすべての者(以下「対象者」という)のスポーツ活動を奨励し、「一市民一スポーツ」および「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、対象者の健康づくりを推進するとともに、地域に根ざしたスポーツ環境づくりを進め、青少年の健全育成、地域の活性化に寄与することを目的として平成29(2017)年5月に設立されました。その後、令和2(2020)年4月に公益財団法人渋川市まちづくり財団の一組織となり、当財団の公益目的事業であるスポーツ・健康推進事業を担っています。令和6(2024)年3月末時点において、会員数は225名、開催しているスポーツ教室は30種類となっています。また、令和5(2023)年度の実績として、イベントなども含めた教室開催数は788回、参加者延べ人数は8,576人です。

令和6(2024)年4月現在、クラブの運営スタッフは5名体制となっており、当初のクラブ設立目的の達成に向け、また、学校運動部活動との連携という新たな取り組みへの対応など、市民や行政とも連携を図りながら活動しています。



中学校体育連盟と中学校長会との連携を図り 休日部活動を開始

中学校の休日部活動の地域移行に向けた取り組みが検討されるなかで、渋川市教育委員会が「渋 川市部活動地域移行検討委員会」を立ち上げ、そのメンバーに当クラブの職員2名が参加していま す。また、「休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究|として、中学校体育連盟や中 学校長会と連絡調整を図りながら、令和5(2023)年度は地域クラブ活動として、4つの競技種目の 休日活動を開始しました。

群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業への参加

渋川市教育委員会および中学校体育連盟と連携を図りながら、令和5(2023)年9月から群馬県地 域スポーツクラブ活動体制整備事業の「休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究」 に取り組みました。初年度は年度途中から取り組んだ経緯もあり、体操、スケート、軟式野球、バレー ボールの4競技種目で実践研究を開始しました。事業の開始にあたり、指導者や活動場所、活動内 容や保護者の協力など、これまでの活動実績を基に関係する指導者や学校と調整を図りながら事 業を推進してきました。令和5(2023)年度末には、4競技の成果報告書を取りまとめ、成果と課題 を明確にするとともに、次年度に向けた指導体制のさらなる整備を確認しました。令和5(2023)年 度中に取り組んだ4種目については次のような取り組みが見られました。

【体操】

市体操協会所属の指導者と部活動指導員(県教育委員会から派遣されている指導者)経験者が、 少年団の子どもたちと中学生を合同で指導しています。活動場所は、器具の設置や保管の関係上、 特定の市内中学校の体育館を使用しています。

【スケート】

市スケート協会所属の指導者が、スポーツ少年団の子どもたちと中学生を合同で指導していま す。活動場所は、市内伊香保町にある高崎健康福祉大学伊香保リンク(群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク)を使用して活動しています。スケートリンクまでの送迎は、保護者に協力をお願い しています。令和5(2023)年度から、中体連大会には地域スポーツクラブとして参加しており、県 大会や全国大会に参加した生徒の指導や引率を外部指導者(渋川市が募った指導者)に依頼してい ます。教員の引率がなくなったことで、業務の軽減につながりました。課題としては、教員が直接、 生徒の活躍を応援したり把握したりすることができないことが挙げられます。



伊香保町にあるスケートリンク



地域のスポーツ少年団との合同練習



【軟式野球】

自校に野球部がない中学生を対象に、元教員で部活動指導員の経験のある指導者と地域の外部 指導者が指導にあたっています。活動場所は、特定の市内中学校の校庭や市営グラウンドを使用 しています。地域の中学生が体験的に練習に参加することもあります。



自校に野球部がない中学生を対象に活動を開始



地域の中学生も参加した合同練習

【バレーボール】

市内に3校あるバレーボール部の生徒が合同で練習しています。市バレーボール協会所属の指導者や部活動指導員経験者が指導にあたり、参加中学校の体育館を使用して活動しています。



3校合同での練習会



スパイク練習で、専門的な指導を受けている様子

また、令和6(2024)年度は、前述の4競技種目に加え、柔道、剣道、陸上競技、ソフトボール、 バドミントン等において実証研究を計画しており、各競技団体や会場となる中学校との調整や準 備を進めているところです。

地域スポーツクラブと学校・地域をつなぐ役割を務める

総合型地域スポーツクラブの運営は、令和2(2020)年度から、公益財団法人渋川市まちづくり財団しぶかわスポーツクラブ課が行っています。しぶかわスポーツクラブ課の課長(以下、「当クラブ課長」という)は、市内中学校の校長を退職後、令和5(2023)年4月に当クラブに着任しました。これまで、渋川市(中学校9校)および隣接する北群馬郡(中学校2校)の中学校体育連盟会長を務めており、在任中には運動部活動の地域移行に関わる実態調査や各競技種目の現状把握を行うなど、当該市町村教育委員会をはじめとする関係団体との調整役を担ってきました。

クラブ着任後は、渋川市部活動地域移行検討委員会(以下「検討委員会」という)のメンバーとして会議に参加するとともに、検討委員会に向けた担当者による準備会の設営にも関わるなど、市教育委員会と市中学校長会および中学校体育連盟、市スポーツ協会、各競技団体等の関係団体をつなぐコーディネーター的な役割を務めてきました。



地域のスポーツ関係団体および他市町との連携にも力を入れる

渋川市スポーツ課からの依頼を受けて、令和5(2023)年9月に学校部活動外部指導者16名、スポーツ少年団の指導者30名を対象とした研修会の講師を当クラブ課長が引き受け、「教育的な意義を踏まえた持続可能な部活動の実現をめざして~部活動の段階的な地域移行を見据えた指導のあり方~」をテーマに講演を行いました。各中学校の部活動の現状を踏まえ、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域が育てる」という共通認識の下に、学校と地域そして行政が連携・協働して部活動の地域移行に取り組むことの必要性を伝えました。また、同年11月には、渋川市スポーツ協会の依頼により加盟する各競技団体の代表者55名が参加した「中学校運動部活動の段階的な地域移行に向けて」と題した講演を行いました。渋川市の現状と課題についての説明や県および市教育委員会の推進計画策定の背景やねらい、今後の方向性等の情報提供を実施し、本研修会を通して、スポーツ協会としての体制づくりの必要性や学校および行政が一体となって部活動の地域移行を推進していくことの重要性を確認しました。

さらに隣接する群馬県北群馬郡吉岡町が開催する部活動地域移行検討委員会や研修会に、市教育委員会担当者とともに参加し、互いの取り組みの進捗状況や課題についての情報を共有しました。また、県内の前橋市および伊勢崎市の担当者との情報交換会の設営に向けたコーディネーター役を当クラブ課長が務め、各市の取り組み状況や懸案事項を確認し合うとともに、群馬県教育委員会の担当者にも同席を依頼し、国の動向や県としての考え方、県下の取り組み状況などの情報提供をしていただきました。

部活動の地域移行に関わる研修会



渋川市スポーツ課主催の部活動外部指導者およびスポーツ少年団指導者対象の研修会の様子



渋川市スポーツ協会主催のスポーツ指導者(各競技 団体代表者)対象の研修会の様子

リーフレットの配布等、学校・地域との連携と啓発活動の推進

「なぜ今、部活動の地域移行を行うのか」「今後どのようなスケジュールで地域移行が進んでいくのか」などの不安の声が学校現場をはじめとしてさまざまな場面で聞かれ、教職員のみならず地域のスポーツ関係者や児童生徒および保護者に、地域移行に関する具体的な内容について周知されていない状況がありました。

そこで、当クラブ課長が渋川市小中学校長会の依頼を受けて、令和5(2023)年8月3日に市内小中学校長研究協議会で、部活動の地域移行に係る現状と今後の方向性についての説明と国や県からの資料に基づく情報提供を行いました。そして、小中学校の校長が情報を共有し共通理解の下に対応を進めることが確認されました。また、地域移行の理解を図るための啓発資料である、渋川市部活動地域移行リーフレット「部活動地域移行の考え方と今後の方向性」の原案作成にも関わり、令和6(2024)年3月に小中学校の児童生徒および保護者、教職員に配布されました。



成果や課題を具体的に整理し 地域移行の整備が進む

地域が受け皿となる部活動地域移行の体制整備を行うためには、学校における運動部活動および中学校体育連盟の現状を把握し、市行政や市スポーツ協会および各競技団体をつなぐコーディネーターの存在が不可欠だと考えます。

渋川市教育委員会が主催する検討委員会のメンバーからも、「なぜ今、部活動の地域移行が必要なのか」また、「今後どのようなスケジュールで地域移行が進んでいくのか」、さらに、「地域移行後の具体的な地域クラブ活動のあり方はどうなるのか」といった意見が出されました。

このような状況のなかで、アンケートによる実態調査や各学校の部活動の状況把握、群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業を活用した実証研究を実施しながら、成果や課題を具体的に整理し、リーフレットの作成や配布を行い、周知を図ってきました。また、検討委員会での成果や課題を踏まえて、令和6(2024)年度の取り組みにつなげるための方向性も確認されました。

具体的な取り組みとして、令和6(2024)年度には、「渋川市部活動地域移行推進委員会」が設置され、当クラブ課長が地域移行コーディネーターを兼ねて委員会に参加し、これまで以上に推進役としての情報提供や意見を述べる機会ができるようになります。また、群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業の拡充を図り、各学校および競技種目の実情に応じた体制整備を行うために、先を見通した渋川市としての予算を計上することもできました。さらに、市スポーツ協会に所属する各競技団体にも協力を依頼し、休日部活動の地域クラブ活動としての指導体制の整備を進めています。



地域クラブとして運営主体となる 推進をさらにめざす

各種イベントの充実や派遣教室を通じたPR活動の推進

現在実施している30種目の定期教室の内容の充実と参加者(会員)の確保や増員に向けたさらな るPR活動を行っていきます。「しぶかわスポーツクラブだより | や 「クラブカレンダー | に掲載して いる各教室の活動内容を一覧表にまとめたり運動強度をイラストで示したりして、よりわかりや すく各教室を案内できるように改良への取り組みを始めました。また、各教室の指導者の賠償責 任保険への加入も行い、万が一の大きな対応や賠償責任に問われるような事案にも対応できるよ うにしました。

定期教室の他にも、令和6(2024)年度に計画しているイベントは、「小学生陸上教室」が8回、「ウ オーキング教室」が4回、「トランポリン教室」が2回、「ユニバーサルスポーツ体験教室」が1回、「ふれ あいスポーツ教室」が1回、「健康づくり講演会」が1回等、さまざまなスポーツ体験を企画していま す。クラブだよりやイベントのチラシを配布し、幅広い年齢層の方々に参加を呼びかけています。 また、恒例となっている「しぶかわスポーツクラブまつり」を11月に計画しており、渋川市スポー ツ協会や渋川市スポーツレクリエーション協会の協力の下、地域の企業の支援や協賛をいただき ながら、多くの市民の皆さんが、多様なスポーツを体験できるイベントとなるよう準備を進めて います。各種イベントやクラブまつりの際には、クラブの活動を紹介するなど積極的にPR活動を 行っています。さらに、地元企業や公民館、スポーツ少年団等から派遣教室の依頼を受けて、講 師を派遣したりクラブスタッフが指導に出向いたりしています。今後も、多くの市民の皆さんに しぶかわスポーツクラブの活動を知ってもらい、地域に根ざしたスポーツ環境づくりを推進して いきます。

地域をリードする運営主体となれるよう環境整備を検討

令和5 (2023) 年度から令和7 (2025) 年度までの3年間は、国や県が示す部活動地域移行に係る改 革推進期間のため、令和5(2023)年度は、市教育委員会が主導して「渋川市中学校部活動地域移行 検討委員会」を立ち上げ、その後、「渋川市中学校部活動地域移行推進委員会」を設置し、県が推進 する「群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業」等も積極的に活用して、地域クラブ活動を展 開する計画です。その際、これまでになかった新たな運動種目を加えることで、生徒の多様なニー ズに応じた活動を展開し、その受け皿となる活動として、しぶかわスポーツクラブが定期教室と して実施している空手道教室やスポーツチャンバラ教室等を考えています。将来的には、しぶか わスポーツクラブの組織や教室運営の方法を活用した、地域クラブ活動を推進するための運営主 体となれるような環境整備を検討していきたいと思います。

公益財団法人渋川市まちづくり財団しぶかわスポーツクラブ課 課長 下境一浩



クラブプロフィール

設立年月日 平成29(2017)年5月16日(令和2年4月1日 法人登記)

所在地 群馬県渋川市中村830番地5 中村緑地公園管理棟1階

運営 会員数:225名(令和6年3月現在)、予算規模:20,934千円(令和6年度)

特徴 ●幅広い年代を対象として、多種目のスポーツ教室を開催しています。

●自治会やサークル等からの要請を受けて、スポーツ指導者を派遣して教室を開催することもできます。

●スポーツイベント等も年間で複数回開催し、市民がスポーツに親しむきっかけづくりをしています。

●法人の一組織である強みを活かして、参加者の費用負担を少なくしています。

連絡先 〒377-0002 住所: 群馬県渋川市中村830番地5 中村緑地公園管理棟1階

TEL:0279-26-3009 FAX 0279-26-8822

HP: https://www.shibuspo.com/ E-mail: shibuspo@an.wakwak.com

JSPO(日本スポーツ協会)webサイト内に 運動部活動改革 特集ページを公開中!

運動部活動改革の経緯やJSPOの基本的考え方、参考情報をはじめ スポーツ庁や競技団体、自治体等の取り組み事例を掲載

URL: https://www.japan-sports.or.jp/tabid1377.html





助成金情報

ヨネックススポーツ振興財団2024年度助成金

【実施団体】(公財)ヨネックススポーツ振興財団

ジュニアスポーツ振興助成事業(全スポーツ競技)すべてのスポーツ競技において、ジュニア スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ当該団体とし ての活動を実施している団体を対象とします。

【申し込み期間】

後期対象期間: 令和6(2024)年10月1日(火)~令和7(2025)年3月31日(月)の事業

申請最終期限: 令和6(2024)年6月20日(木)(17:00まで)

交付申請要領をご確認いただき、Webにて申請してください。

詳細は以下のページをご覧ください。

https://www.yonexsports-f.or.jp/grant_application/

令和6年度子どもゆめ基金助成金<二次募集>

【実施団体】(独)国立青少年教育振興機構

子どもの健全な育成を図ることを目的に、令和6(2024)年10月1日(火)以降に開始し、令和7 (2025)年3月31日(月)までの間に行われる子どもの各種体験活動や読書活動に対する助成を 行います。

【申し込み期間】

電子申請システムを利用した申請のみ受付/令和6年(2024)5月1日(水)~6月18日(火)(17:00 まで)。

詳細は以下のページをご覧ください。

https://yumekikin.niye.go.jp/nijibosyu/

エネルギア文化・スポーツ財団2024年度後期助成募集情報

【実施団体】(公財)エネルギア文化・スポーツ財団

中国地域に所在する文化、スポーツに関する団体(※1)が主催し、中国地域在住者が過半数(※ 2) を占める活動で、中国地域内において行う活動を対象とします。

※1: 団体には、社団・財団・県体育協会等の公益法人、地方公共団体を含みます。

※2:全国規模·西日本規模の大会は中国地域の参加者が過半数でなくても対象とします。

【申し込み期間】

令和6(2024)年5月1日(水)~6月20日(木)(当日消印有効)

申し込み書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、各申し込み先へ郵送してください。 詳細は以下のページをご覧ください。

https://www.energia-zaidan.or.jp/support/application/



お知らせ

日本スポーツ協会情報

●総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 令和6(2024)年度登録クラブとして1,088クラブを認定

「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」に基づき、令和6(2024)年度登録クラブとして1.088 の総合型クラブを認定しました。

本制度は、総合型クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体として の役割を果たしていくために、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準として います。

当協会では、本制度の取り組みをはじめ、総合型クラブの質的向上に向けた支援を引き続き進 めてまいります。

なお、登録クラブの実績や課題、ニーズなどを把握し、登録クラブに対する有効な支援施策等 の検討を行うために、令和5(2023)年に実施した実態調査の結果を当協会ホームページ上に公開し ています。

登録クラブ一覧・実態調査結果

https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1095.html

登録・認証制度の概要

https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1337.html

●「スポーツリスクマネジメントセミナー ~あなたのクラブは大丈夫?安全・安心なスポーツ活動への備え~」の アーカイブ配信を開始

令和6(2024)年3月16日に開催した「スポーツリスクマネジメントセミナー〜あなたのクラブは 大丈夫?安全・安心なスポーツ活動への備え〜|のアーカイブ配信を開始しました。

本セミナーは、部活動の地域連携・地域クラブ活動移行に向け、信頼されるクラブ運営を行うに あたって必要なリスクマネジメントやガバナンスの重要性について視野を広げてもらい、日々の スポーツ活動における安全・安心な活動に向けて適切なマネジメントを実践し、よりよいクラブ運 営につなげていただく機会として開催しました。

当日ご参加いただけなかった皆さまもぜひこの機会にご視聴ください。

※本セミナーは、公益財団法人スポーツ安全協会の支援および三井住友海上火災保険株式会社の協賛を受けて実施いたしました。

アーカイブ配信の視聴はこちらから

https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1073.html



●令和6(2024)年度公認クラブマネジャー養成講習会の開催について

JSPOでは、総合型クラブなどにおいてクラブの経営資源を適切に確保し、健全なマネジメント を行える人材の養成を目的に、「公認クラブマネジャー養成講習会」を開催しております。本講習会 は、コミュニケーションスキル、マーケティング、経営戦略、運営、財務、評価といったマネジ メントに不可欠な内容を、より具体的に学ぶカリキュラムとなっております。

部活動の地域連携・地域クラブ活動移行の各種取り組みにおいても、総合型クラブがその受け皿 として注目されており、クラブの経営資源を適切に確保し、健全なマネジメントを行える人材の 確保が求められております。

この機会にぜひ受講をご検討ください。

定員:40名程度

申し込み方法

1.下記ページから、必要書類をダウンロード

https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid221.html

※受講条件等詳細をご確認くださいますようお願いいたします。

2.指導者マイページにご登録のうえ、「資格を取得する」-「講習会申込・検索」からお申し込みください。 https://account.japan-sports.or.jp/sign_in

申し込み期間

令和6(2024)年5月10日(金)~6月10日(月)

※申し込み状況によって変更する場合がございます。

●日本スポーツマスターズ2024長崎大会のスポーツボランティア募集

長崎県で開催される「日本スポーツマスターズ2024長崎大会」では、競技運営補助やおもてなし などを行っていただくスポーツボランティアの募集を行っています。お申し込み方法については、 長崎県のホームページをご覧ください。

ボランティアとして大会を一緒に盛り上げていただける方のご応募をお待ちしております。

お申し込みはこちらから(外部のウェブサイト)

https://www.pref.nagasaki.jp/object/shikaku-shiken-bosyu/boshu/656984.html

※募集締め切り:令和6(2024)年5月31日(金)

■日程

令和6(2024)年9月27日(金)~10月1日(火) 長崎県内各地

※会期前競技

水泳競技:9月7日(土)~8日(日) ゴルフ競技:9月18日(水)~20日(金) 空手道競技:9月21日(土)~23日(月・休)

■開催競技

水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、自転車競技、ソフトテニス、軟式野球、 ソフトボール、バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ(13競技)

■公募ボランティア募集人数

約700人 ※1日あたり250人程度